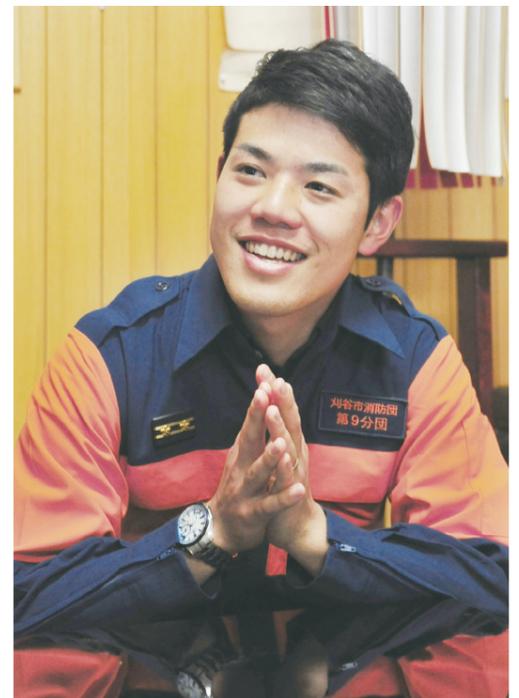


地域を守る 消防団員

日々地域を守るために活動をしている消防団員の皆さん。今回は第9分団の団員2人に話を聞きました。



第9分団 (高須地区)
加藤大貴さん

消防団入団は令和元年6月。建設関係の仕事をしている一家の大黒柱。仕事や家庭とのバランスをとりながら消防団員として活動しています。

【市民の皆さんに一言】
少しでも興味があるなら、ぜひ入団を！いい人ばかりで楽しく活動できますよ。

居心地のいい消防団

消防団では先輩たちと楽しく過ごしているという加藤さん。「こもての人が多いイメージがありました。実際に入ってみると、皆さんが話しやすい雰囲気をつくってくれて、とてもうれしい。だから消防団としての活動もより楽しい」と笑顔で話してくれました。

地域との繋がりが宝

「やりがいを感じた時は」との質問に、「消防団の活動として、地域の運動会の手伝いに参加した時に、ありがと〜と言ってもらえた時」と答えてくれました。また、消防団で活動を重ねるこ

とで、近所の人に顔を覚えてもらえ、よいご近所づきあいが生まれたこともあったそうです。

市操法競技会、そしてさらにその先へ

去年は入団してすぐということもあり、外で操法を見ていた加藤さん。「今年こそは操法の選手に選ばれたい。そして、練習を重ね、いい結果を残して分団に貢献したい」と今後の抱負を強く語ってくれました。3年後に出場予定の県操法大会を見据え、「先輩たちをお手本にしながら日々努力していきたいです」と加藤さんは話します。

消防士への憧れ

昔から消防士への憧れがあったという森さん。そんな森さんに消防団を勧めてくれたのは勤務先の園長先生でした。そのことで入団する勇気が湧き、自ら市役所に電話をかけ、入団しました。

新しい世界を経験

消防団の魅力が聞かれたときに「いろいろな職種・年齢の人と触れ合うことができる」と答えてくれた森さん。今まで気にしたこともなかった消火器や消火栓に触れたり、日常でその存在を意識したりすることも刺激的だと感じているようです。また、「訓練や操法競技会など、仲間と一つの目標に向けて努力することって部活みたいでワクワクします。このようなことは社会人ではなかなか味わえないですよ」と教えてくれました。

仕事との両立について「大変だとは思いません。逆に仕事とは別だから楽しんでできているのだと思います」と森さん。そんな森さんを見て、入団を勧めた園長先生を始め、周囲の皆さんは喜んでくれているそうです。

人生1回、後悔はしたくない

森さんの今後の目標は3年後に控える県操法大会出場。「そのため、今いる仲間と夢中になつて努力を重ねて成長したい。これから大変なこともあるかもしれないけど、せつかくの人生だから最高の結果が出るようにやりきりたい」と力強く話します。

誰かの役に立ちたい

森さんは昔から、誰かの役に立つことがしたかったそう。「消防団なら、他に仕事をしながらでもできますからね」と笑顔で話してくれました。また、昨今多発する災害について、漠然と見ているよりも、自分でも何か貢献したいという強い思いを持っています。

仕事との両立

大切な子どもを預かる重要な



第9分団 (高須地区)
森まゆみさん

消防団入団は平成30年10月。柔道が大好きで、普段は子どもたちの成長を見守る幼稚園教諭として働いています。

【市民の皆さんに一言】
みんなで目標を持って活動するのってすごく楽しいです。消防団に入ってその楽しさを味わおう！

求む、消防団員!

- ✓ 「地域を守るヒーローになりたい」
- ✓ 「消防士に憧れている」
- ✓ 「新しい仲間がほしい」
- ✓ 「地域とのつながりがほしい」

など、どんな理由でも大丈夫！興味がある人は危機管理課まで。

問 危機管理課 (☎62-1190)



消防団員の特典

消防団員カード

このカードを提示すると、愛知県内の約1,000軒の店舗で団員やその家族が割引などの特典を受けられます。

JCBビジネスカード

会員限定サービスなどの特典が受けられるJCBカードを、年会費無料で発行できます。

学生団員へ活動証明書

在学中に1年以上活動を行った団員に交付されます。消防団で身に付けた団体行動や規律、災害対応能力を就職活動でアピールできます。